

水産資源保護法

内水面でのサケ・マスの採捕は全面的に禁止。例外として、

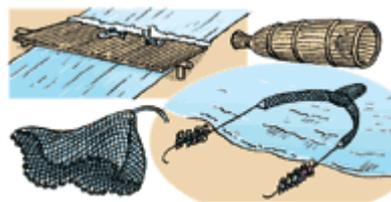
- 増殖に関すること
「北海道さけ・ます増殖事業協会」が行う、増殖に用いるサケ・マスの採捕。
- 調査を目的としたもの「有効利用調査」で「採捕従事者」として登録する。
忠類川、元浦川、茶路川、浜益川の4河川で採捕従事者となる以外には、河川内でサケ・マスを釣ることはできない。

ここでいうマスとは、北海道内水面漁業調整規則で採捕が禁止されている次の魚種です。<サクラマス・カラフトマス・ペニマス・ギンマス・マスノスケ>

フィッシングルール 2005 北海道水産林務部 <http://www.pref.hokkaido.jp/srinmu/sr-sknri/turi-r-m/top.html>

次の漁具・漁法を用いて水産動植物を採捕する場合は、知事の許可が必要となります。(規則第4条)

- 刺し網
- 流し網
- 敷き網
- 地びき網
- 船引き網
- はえなわ
- 投網
- どうやな
- たも網(口径又は深さが 40cm 以上に限る)



探検のまとめと感想

花 探検を始める前は、花なんてそんなにないだらうと思っていましたが、全九回の探検で二十九種類の花を見つけました。シロツメクサ、ムラサキツメクサ、セイヨウタンポポなどは知っていました。知らなかった花がほとんどでした。季節によって花の種類がちがうこともわかりました。また、春の探検では草丈の低い花ばかりでしたが、春から夏、秋と探検が進むにつれ、だんだんと草丈の高い花を見つけました。これは、春は周りの雑草もほとんどなく日光が十分に当たるので草丈が伸びる必要はなく、でも夏は周りの雑草が伸びて日光が当たらなくなるので草丈が高く伸びる必要があるからだろうと考えました。最後に毎回新しい花が見つかったうれしかったです。探検が終わった後も、いろいろな花を調べてみました。

ザリガニ ザリガニ釣りは、探検を始めて全く釣れないことが続き、第5回目まで釣竿にかかるまでは本当に釣れないかと思いましたが、探検や調査を進める中で、ザリガニは主に川の底や岩の陰に隠れていて、おいしい強いものが好きだとわかりました。また、川の水がにごっていたら

ザリガニは釣れないこともわかりました。今回の探検で、ザリガニのエサや住んでいる場所がわかってよかったです。



魚 今まで釣りをしたことがなかったので、釣りや魚については全くわかりませんでした。探検を重ねることに魚のよくいる場所、エサのつけ方、針の外し方、ラインの結び方などがわかってきました。今回探検した場所では、水の落ち込む所と底が深くなっている所がポイントになりました。生息する魚も季節によって変わることが確認できました。春はイwana・アメモマス。夏・秋はウグイ、秋はカラフトマス・サケとなりました。そして水生昆虫や子魚などをエサとして食べているようなので、トビケラやカ

ついでに

ワゲラの幼虫を採取して釣りをしました。最後に「冬はほとんどエサがないのに魚はどう暮らしているのだろう。」と疑問を持ったので、今後の自由研究で調べてみたいです。

尾幌川にはたくさんさんの自然があつて、探検することができました。私たちは、お互いに協力して仲良く探検できたと思います。何事も協力してがんばることが大事だとわかりました。それに、第一回から第九回までくらべていくと、探検のまとめかたがうまくなつていて私たちも上達したなと思えました。しかし、まだまだ探検の不足している所もあると思います。これからも機会があったら、もっと探検をしていきたいと思えます。ありがとうございました。



- 五年 藤田 直哉
- 池谷内 早奈恵
- 六年 蝦名 佑亮
- 藤田 千尋
- 池田 望
- 担任 鈴木 穰

編集



ウグイ(5匹)
体長 14cm(2匹)、15cm(3匹)
エサ ヤナギムシ

魚 尾幌川にカラフトマスが上つてきました。川一面をうめつくすくらいの数です。こんなにたくさんのカラフトマスがいたなんて、そして尾幌川に戻って来たなんて、全てが初めての体験でとても感動しました。きれいだなーと、いつまでも眺めていました。



ノゲシ(キク科)
黄色い花 タンポポみたいな花弁
長くギザギザな葉 トゲがある茎
草丈 90cm



ザリガニ 今回は川がにごっていたし、水の量も多かったたので釣れなかったのだからと思います。
○ エサ スルメ
○ 全く釣れなかった



第8回 9月12日



ムシトリスミレ(タヌキモ科)
紫色の花 花弁は5・6枚
ギザギザな葉 緑色の茎
草丈 48cm



クサレダマ(サクラソウ科)
黄色い花 小さい花弁集まっている
細長い葉 茶色っぽい茎
草丈 115cm

花 ムシトリスミレの花弁の上が開じていたのはなぜだろう、名前の通り本当に虫を取るのか疑問に思いました。また、土手にはエゾオグルマがたくさん咲いていたのでびっくりしました。他の種類もたくさん咲いていて色とりどりきれいでした。

魚 今回見たことのない魚を釣りました。ハナカジカというおうど色の魚でした。ちょっと不気味でした。そして、今回もたくさんのカラフトマスがいたので、オスの体をよく観察しました。もりあがった背中、いかつい顔が不気味でした。



セントウソウ(セリ科)
白い花 花弁は集まって咲いている
大きい葉 茎にはとげがある
草丈 80cm



エゾオグルマ(キク科)
黄色い花 花弁約10枚
細長くギザギザな葉 赤紫の茎
草丈 140cm



ザリガニ ウチダザリガニが3匹釣れました。とつてもうれしかったです。この季節はたくさんいるのかな、活発に行動するのかなと思いました。

○ エサ スルメ
○ 3匹釣れた



ハナカジカ(1匹)
体長 12cm
エサ イクラ



ウガイ(1匹)
体長 20cm
エサ ミミズ



ウガイ(7匹)
体長 9cm、16cm、17cm、
19cm(2匹)、20cm、21cm
エサ イクラ ヤナギムシ



魚最後の調査は、ウガイばかりですが満足できるほど釣れました。そして川の水もずいぶん冷たかったです。川底の大きな石の裏にはヒゲナガカワトビケラの幼虫がいました。もう水生昆虫はいないと思っただのでびっくりしました。

第9回 10月26日



ハキダメギク(キク科)
白い花 小さい花弁
大小の葉 細い茶色と黄緑色の茎
草丈 83cm



アブラガヤ(カヤツリグサ科)
黄色い花 たてに大きい花弁
細長い葉がたくさん 赤色の茎
草丈 120cm



コガネギク(キク科)
黄色い花 小さな花弁が集まっている
細長い葉がたくさん
草丈 27cm

花冬に近づくにつれ花が少なくなってきました。川原や土手には枯れ草も見られました。そんな中、三種の花を見つけられてよかったです。



なぜ川に網が?

今回、川に大きな網が二つ仕掛けられているのを発見しました。そこには、なんとたくさんのカラフトマスや数匹のサケが網にかかっています。網にかかっている魚は全て死んでいました。中には骨になっている魚もいました。落ち葉などもたくさんかかっており、仕掛けられてからだいぶ時間がたっているようでした。どうして網を掛けたのでしょうか。川でサケやマスをつかまえるのはダメなのに、ゆるせないことだと思います。

ザリガニ最後の調査でしたが、ザリガニは釣れませんでした。やはり冬に近づいているので川の水温が低く、ザリガニは活動していないのだろうと考えました。

○ エサ サンマ、スルメ
○ 全く釣れなかった

魚 今までの調査で釣れたイワナやアメマスが釣れずに、今回はウグイが釣れました。前回と同じエサや仕掛けで釣れなかったので、イワナやアメマスは海へ行ってしまったのではないかと考えました。

ザリガニ 今回は場所を変えて取り組んでみたが釣れませんでした。

○ エサ スルメ

○ 全く釣れなかった



シコタンキンポウゲ(キンポウゲ科)
黄色い花(真ん中が黄緑色) 花弁5枚
草丈 60cm
茎は茶色で毛がある



カキネガラシ(アブラナ科)
黄色い花 花弁はたくさん
草丈 40cm
小さく、細かいギザギザの葉

第5回 7月12日

花 新しく見つけた花「ノミノフスマ」は、白くて小さな花びらが10枚もあり、とてもかわいらしかったです。今回は2種類の花を見つけたことができました。



ウグイ(3匹)
体長 13cm、14cm、18cm
エサ ミミズ、イトトンボ、カワゲラの幼虫



昆虫の足やトビケラの体の一部が見つかった。

ザリガニ 調査を開始して初めてザリガニが釣竿にかかりました。スルメをはさむザリガニの姿に興奮しながら竿を引きよせましたが逃げられてしまいました。残念でしたが、嬉しかったです。

○ エサ スルメ

○ 全く釣れなかった



ノミノフスマ(ナデシコ科)
小さい白い花 花弁10枚
ギザギザで長い葉(必ず向かい合っている)
草丈 80cm



スズメノカタビラ(イネ科)
紫色の花 花弁1つにまとまっている 長い葉
草丈 110cm

第6回 7月25日

花 今回はたくさんの花を見つけました。花弁がたれている花、茎が茶色い花、花弁の中心に黄色の粒がある花、めずらしいと思える花ばかりでした。



クサフジ(マメ科)
ピンク・紫色の花 花弁たれている
草丈 140cm



ウグイ(3匹)
体長 13cm、13cm、18cm
エサ イトトンボ、カワゲラの幼虫

魚 今回もウグイしか釣れませんでした。したがって、この季節この場所にはイワナやアメマスはいないのだろうかと考えました。



ハクサンボウフウ(セリ科)
白い花 花弁5枚
緑色の茎 ギザギザの葉
草丈 80cm



キツネノボタン(キンポウゲ科)
黄色い花 花弁細かい
青紫色のくき
草丈 80cm



キレハイヌガラシ (アブラナ科)
黄色い花 小さい花弁4枚が集まっている
茎が茶色 細長い葉
草丈 40cm



ウガイ(3匹)
体長 12cm、13cm、15cm
エサ カワゲラの幼虫



ヨコエビが見つかった

魚 またウガイしか釣れませんでした。これからずっとウガイしか釣れないのでしょうか。春はイワナ、夏はウガイとなっているのでしょうか。



ホソトウキ(セリ科)
白・ピンクの花 花弁5枚
細く、ギザギザの葉
草丈 120cm



ザリガニ 今までの探検や本で調べた結果、ザリガニは川の底や大きな石の下にかくれていることがわかりました。しかし、私たちがエサに使っているスルメは軽すぎるので、川の底にはいかず流されてしまいます。そこで、今回はオモリをつけることにしました。すると、初めてザリガニを釣ることができました。とてもうれしかったです。そのザリガニの種類はウチダザリガニでした。そして、私たちと一緒にザリガニ釣りをしていた担任の先生は、サンマをエサにしていた釣りしました。次回は、更に工夫してつかまえたいです。

- エサ スルメ
- 1匹 10.5cm



ハマオトコヨモギ(キク科)
ピンク色の花 花弁は集まって咲いている
葉は長く多い 茎に茶色い筋
草丈 90cm

花草丈の高い花や、土手の上の方に咲いている花など、結構高い場所にあったので調べるのがとても大変でした。

第7回 8月26日

ウチダザリガニ

日本には、4種のザリガニがいて、摩周湖に生息するザリガニをウチダザリガニといい、20cmに達する大型のザリガニです。北米原産の外来種で、食用として水産試験場が昭和5年に移植したものです。その後、道内各地に広がっています。

株式会社大阪設計
<http://www.osakasekkei.com/libraly-s-mame.html>



ガニはまだ川にいないのか、またエサをもっと工夫したほうがいいのか、と考えました。釣れなくて残念でしたがとても楽しかったです。また、担任の先生がヨコエビをつかまえました。体長は2cmでした。初めてヨコエビを見ましたが、名前の通り体が横になって足を動かしていました。

○ エサ スルメ、カニかまぼこ
○ 全く釣れなかった

第3回 6月15日

花 エゾノコノメソウが今回も咲いていました。前回よりも草丈が伸びていてすごいと思いました。また、川辺にもたくさんのお花が咲いていました。花にはつぼみがあったので、最近咲いたものと考えました。



セイヨウタンポポ(キク科)
黄色い花 葉はギザギザ
草丈 25cm



ウスバスミレ(スミレ科)
白い花に、黒い筋がある 花弁5枚
草丈7cm



セントウソウ(セリ科)
白くてこまかい花 花弁5枚
草丈 15cm

ガニ釣りのエサにはスルメがいいと書いてあったので、今回はスルメだけ使いました。しかし今回もまったく釣れませんでした。次回は、場所を変えてチャレンジしたいと思います。

○ エサ スルメ
○ 全く釣れなかった



イワナ(1匹)
体長 17cm
エサ ミミズ



魚 またイワナが釣れました。全体的にアタリが少なかったため、川原を探検しました。そしてヒラタカゲロウの幼虫をたくさん見つけたり、ナゾの卵を見つけたりました。



ムラサキツメクサ(マメ科)
ピンク・紫色の花 花弁はたくさん
葉は細かく、白いすじ
草丈 34cm



シロツメクサ(マメ科)
白い花 花弁はたくさん
草丈 10cm

花 今回は、新しい花がたくさん見つけられました。黄色い花、花が小さくてわかりにくかった花、花の真ん中が黄緑色をしたためずらしい花、など新しい発見が多かったです。

第4回 6月28日



尾幌川新聞

発行
厚岸町立尾幌小学校
第5・6学年

総合的な学習の時間

探検隊発足

今年度、私たち五・六年生の「総合的な学習の時間」のテーマは環境です。まず、はじめに何をテーマに学習を進めていこうか皆で話し合いました。身近な環境をテーマに調べようと考えましたが、なかなか具体的には決まりませんでした。そして担任の先生から「尾幌川をテーマに四季を追ってみては。」と提案がありました。そこで私たちは、川に住む『魚』と、川原に咲く『花』について調べることにしました。そして、『尾幌川探検隊』を発足して、尾幌川の調査を始めることにしました。

調査ポイント
尾幌川末広橋
周辺に決定。



探検隊の構成

花グループ

私が花を調べることに取り組んだ理由は、花はいろいろな種類があって調べてみたかったし、魚は苦手だったので花にしました。

6年 女子

私は今まで川辺の花の調査をしたことがなかったし、川辺にしかない花もあるのかなと思ったから私は花にしました。

6年 女子

尾幌川の川辺には「どんな花があるのかな。」と思ったし、花に興味があったからです。また、花のことをもっと知りたかったからです。

5年 女子

また、私たちは担任の先生の要望により、『ザリガニ』の生息についても

魚グループ

魚釣りをやってみたかったし、尾幌川にはどんな魚がいるのか調べたかったからです。

5年 男子

魚釣りはやったことがなかったし、魚のことも全然知らなかった。今回の総合で、魚について知りたかったからです。

6年 男子

【調査に使った道具】

針 山女針 5号
ハリス 0.8号
ライン 1.5号
グラスロッド 3.6m

【調査に使った道具】

針 山女針 6号
ハリス 0.6号
ライン 1号
グラスロッド 3.6m



探検の方法

尾幌川を探検するにあたり、探検の方法を次のようにしました。

○ 探検は月二回のペースで、五月～十月まで行う。

○ どんな生物を見つけたのかだけではなく、季節の移り変わりに目を向ける。

花グループ

○ 図鑑などで調べても花の名前はつきりしない場合、特徴が一番近いものとししました。

○ 安全に活動ができる場所に咲いている花だけを調査の対象としました。

○ イネ科など目立たない花は調査の対象から外しました。

魚グループ

○ 同じポイントで釣りを続けるようにしました。

○ 魚が何を食べているのか、胃の中も調べることにしました。
(左の写真が使用した道具)

